

## 6 . 河川流況と水質

### 6 - 1 河川流況の現状と課題

富士川水系の基準地点である上流清水端及び下流北松野地点における過去30年間（昭和46年～平成12年）の流況は以下に示すとおりであり、清水端地点における過去30年間の平均濁水流量は約25.1m<sup>3</sup>/s、平均低水流量は約36.1m<sup>3</sup>/sであり、北松野地点における過去30年間の平均濁水流量は約8.5m<sup>3</sup>/s、平均低水流量は約14.4m<sup>3</sup>/sである。

甲府盆地で取水された農業用水が環流する上流の清水端地点の水量は比較的豊かである。これに対し、中流の塩之沢堰、十島堰で大量の発電取水が行われ、この河川水が域外放流されるため、下流の北松野地点の水量は著しく減少している。

清水端地点流況表

流域面積 2,179.1km<sup>2</sup>

年	流量 ( m <sup>3</sup> /s )					
	豊水	平水	低水	濁水	最小	平均
昭和46年	50.83	34.91	25.39	19.71	16.98	43.40
昭和47年	70.97	50.99	42.38	29.97	25.71	70.44
昭和48年	45.14	36.69	31.94	27.74	24.76	41.00
昭和49年	63.97	39.68	30.54	25.01	17.82	58.69
昭和50年	63.10	48.13	38.28	31.87	21.70	58.34
昭和51年	65.28	50.03	39.29	30.42	21.64	59.56
昭和52年	65.28	40.42	27.83	14.65	7.96	59.58
昭和53年	44.08	33.71	27.55	17.97	13.45	39.06
昭和54年	65.42	42.90	33.38	22.34	10.24	59.01
昭和55年	60.31	47.54	38.60	29.34	20.83	56.62
昭和56年	64.16	48.31	30.13	23.20	16.02	57.11
昭和57年	-	-	-	-	-	-
昭和58年	81.58	60.23	44.83	31.02	23.78	83.04
昭和59年	40.80	33.45	29.50	17.64	16.55	37.16
昭和60年	-	-	-	-	-	-
昭和61年	-	-	-	-	-	-
昭和62年	34.30	29.18	25.86	20.04	2.58	33.06
昭和63年	62.43	44.94	32.50	20.77	18.16	56.22
平成1年	108.06	77.53	57.93	30.68	26.66	96.63
平成2年	67.10	47.21	37.73	22.43	11.39	64.59
平成3年	83.24	54.65	45.32	29.70	27.54	89.12
平成4年	77.83	75.12	54.93	27.73	21.68	69.50
平成5年	85.93	53.88	38.60	27.92	23.20	76.56
平成6年	48.59	41.53	34.61	23.01	18.46	49.29
平成7年	52.50	45.24	38.64	31.76	24.10	51.74
平成8年	45.18	35.37	31.14	18.90	16.51	42.49
平成9年	42.46	31.11	27.19	23.49	20.70	41.75
平成10年	80.16	57.50	44.88	31.58	28.42	83.24
平成11年	52.54	41.92	34.32	28.81	25.65	54.40
平成12年	68.28	46.87	30.00	19.01	5.13	63.17
昭和46年～平成12年の平均	62.57	46.26	36.05	25.06	18.80	59.07

(出典)国土交通省 甲府工事事務所

豊水流量：当年内を通じ95日はこれを下らない流量。  
 平水流量：当年内を通じ185日はこれを下らない流量。  
 低水流量：当年内を通じ275日はこれを下らない流量。  
 濁水流量：当年内を通じ355日はこれを下らない流量。

北松野地点流況表

流域面積 3,539.8km<sup>2</sup>

年	流量 (m <sup>3</sup> /s)					
	豊水	平水	低水	渇水	最小	平均
昭和46年	51.28	8.83	1.86	0.32	0.02	66.83
昭和47年	99.15	18.75	10.50	5.10	0.04	111.72
昭和48年	30.07	12.06	6.57	5.41	1.56	26.08
昭和49年	51.76	16.41	7.86	5.61	4.43	78.03
昭和50年	74.55	33.27	13.54	3.26	0.36	77.96
昭和51年	82.59	40.71	21.35	9.41	8.03	72.78
昭和52年	71.51	19.50	12.28	6.38	5.59	78.46
昭和53年	26.63	12.67	9.70	6.87	4.45	30.54
昭和54年	94.02	34.67	12.02	6.69	4.14	98.23
昭和55年	92.92	37.38	15.19	10.02	5.87	76.33
昭和56年	-	-	-	-	-	-
昭和57年	-	-	-	-	-	-
昭和58年	-	-	-	-	-	-
昭和59年	24.54	18.64	14.31	10.01	7.47	27.80
昭和60年	78.72	24.69	12.94	5.69	3.66	95.46
昭和61年	-	-	-	-	-	-
昭和62年	25.28	15.50	12.36	9.08	6.30	28.45
昭和63年	66.73	20.52	11.26	9.84	8.09	69.23
平成1年	152.24	82.54	31.09	10.41	8.90	133.94
平成2年	79.89	38.41	16.79	13.07	10.36	90.82
平成3年	111.90	46.40	16.30	8.50	6.57	130.62
平成4年	-	-	-	-	-	-
平成5年	103.11	38.95	14.40	9.36	8.31	99.36
平成6年	26.46	14.92	12.78	10.82	7.42	42.31
平成7年	46.74	13.58	9.27	5.03	4.34	46.34
平成8年	42.81	17.09	14.41	5.78	5.58	39.29
平成9年	33.17	18.98	16.48	14.18	12.13	64.98
平成10年	155.41	87.25	38.86	17.55	14.76	161.09
平成11年	58.47	22.43	14.68	12.73	8.44	71.47
平成12年	78.56	21.24	14.10	10.49	8.15	80.26
昭和46年～平成12年の平均	70.34	28.62	14.44	8.46	6.20	75.94

(出典)国土交通省 甲府工事事務所

豊水流量：当年内を通じ95日はこれを下らない流量。

平水流量：当年内を通じ185日はこれを下らない流量。

低水流量：当年内を通じ275日はこれを下らない流量。

渇水流量：当年内を通じ355日はこれを下らない流量。

塩之沢堰、十島堰において、昭和58年より以下の取水制限流量が運用されている。

かんがい期 (3/16～9/31) : 5.0m<sup>3</sup>/s

非かんがい期 (10/1～3/15) : 3.0m<sup>3</sup>/s

## 6 - 2 河川水質の現状と課題

富士川水系の水質環境基準類型指定状況は、以下に示すように指定区間外の富士川本川が河口から塩川合流点までがA類型、それより上流がAA類型、笛吹川は全域がA類型となっている他、主要支川についても、類型指定がなされている。

環境基準類型指定状況

水域名	水域の範囲	該当種類	達成期間	環境基準点	指定日備考	備考
富士川 水域	富士川(1) 塩川合流点より上流	AA	イ	船山橋	S48.3.31(環境庁告示第21号)	1
	富士川(2) 黒沢川全域	C	八	黒沢川流末	H7.3.30(山梨県告示第131号の4)	2
	富士川(3) 塩川合流点～笛吹川合流点	A	イ	三郡西橋	S48.3.31(環境庁告示第21号)	3
	富士川(4) 笛吹川合流点～身延橋	A	八	富士橋	"	4
	富士川(5) 身延橋より下流	A	口	南部橋	"	5
	"	"	口	富士川橋	"	6
笛吹川 水域	笛吹川上流 亀甲橋より上流	A	イ	亀甲橋	S49.4.1(山梨県告示第153号)	7
	笛吹川下流 亀甲橋より下流	A	八	三郡東橋	"	8
	荒川上流 亀沢川合流点より上流	AA	イ	桜橋	"	9
	荒川下流 亀沢川合流点より下流	B	八	二川橋	"	10
	濁川全域	C	八	濁川橋	H7.3.30(山梨県告示第131号の4)	11
	鎌田川全域	B	八	鎌田川流末	S49.4.1(山梨県告示第153号)	12
	平等川全域	B	イ	平等川流末	S49.4.1(山梨県告示第153号)	13
	重川全域	B	口	重川橋	H7.3.30(山梨県告示第131号の4)	14
	日川全域	A	口	日川橋	S49.4.1(山梨県告示第153号)	15
芝川 水域	芝川上流 横手沢橋から上流	AA	イ	横手沢橋	H1.4.1(静岡県告示第247号)	16
	芝川下流 横手沢橋から下流	A	イ	芝富橋	"	17
田子の 浦水域	潤井川上流	A	イ	新田橋	S46.5.25(閣議決定)	18
	潤井川下流	B	イ	富鷹橋	S58.5.4(静岡県告示第461号)	19
	潤井川下流	B	イ	田子の浦橋	"	20
	沼川上流	D	3年	第2放水路 合流前	S46.5.25(閣議決定)	21
	沼川下流	D	イ	沼川新橋	H11.4.1(静岡県告示第276号)	22

(注) イ：直ちに達成

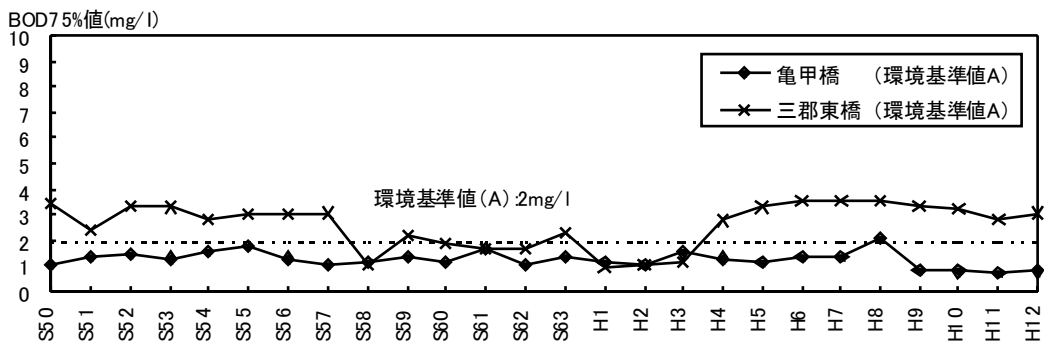
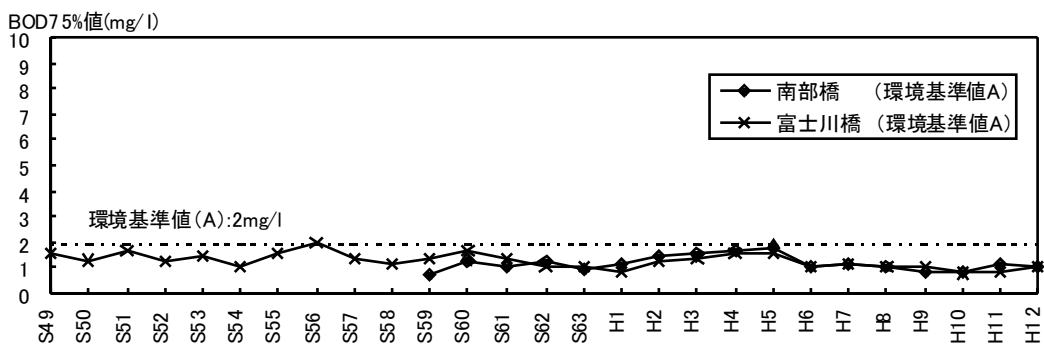
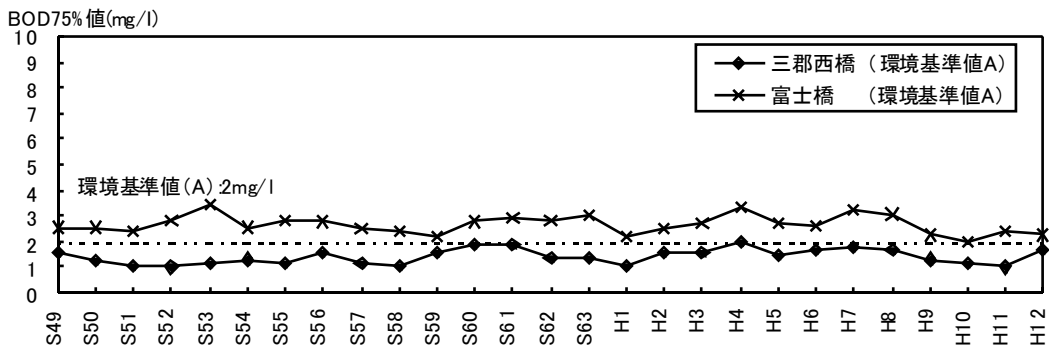
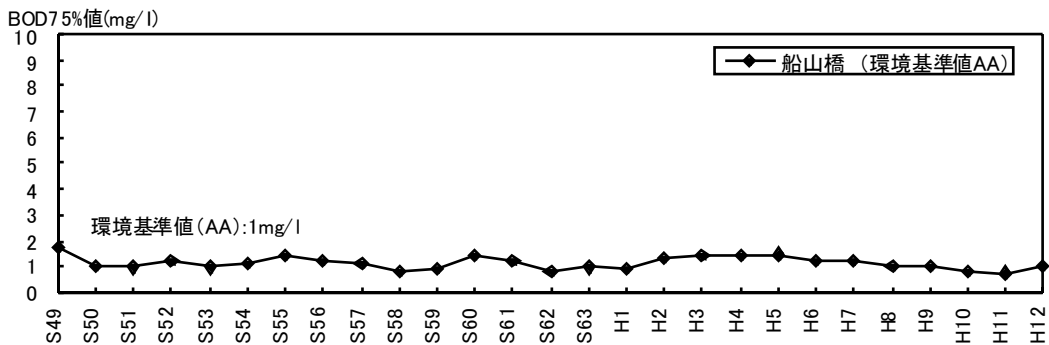
口：5年以内で可及的速やかに達成

八：5年を超える期間で、可及的速やかに達成

( ) 備考欄番号は富士川流域環境基準類型指定状況図に対応する

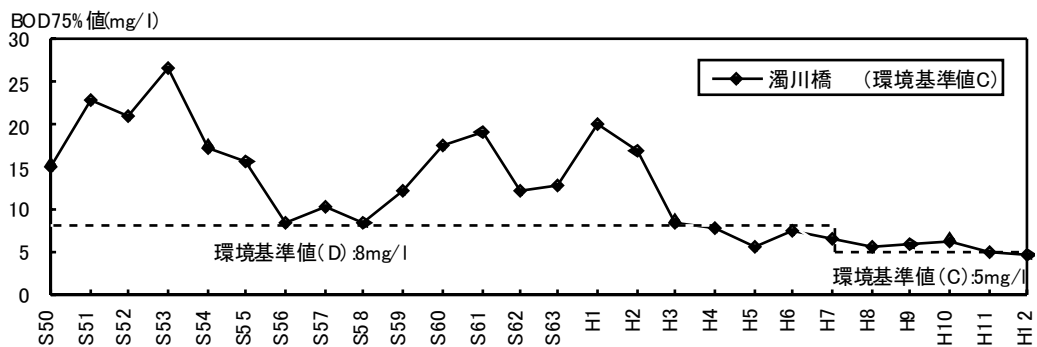
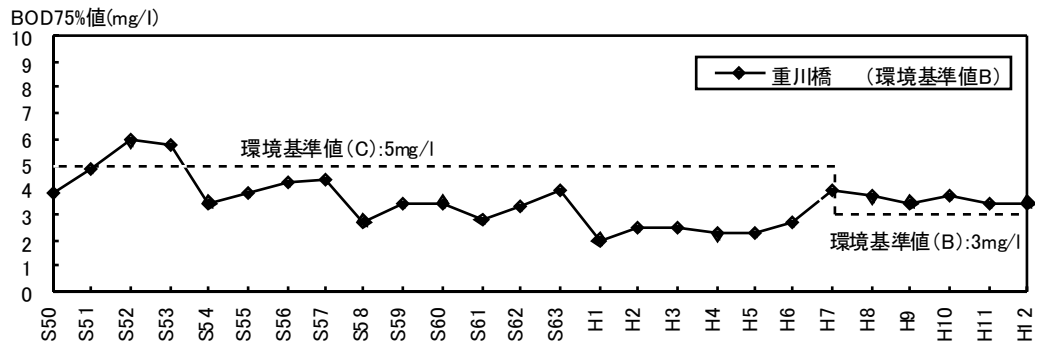
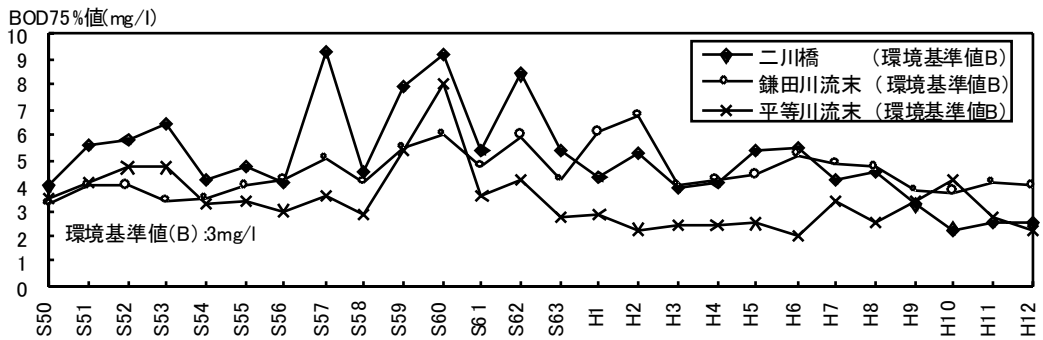
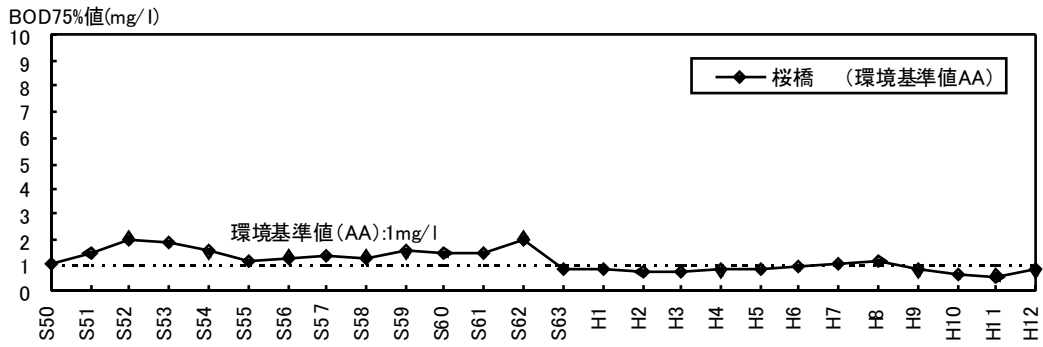


また、富士川の各環境基準点におけるBOD75%値の経年変化は以下示すとおりである。



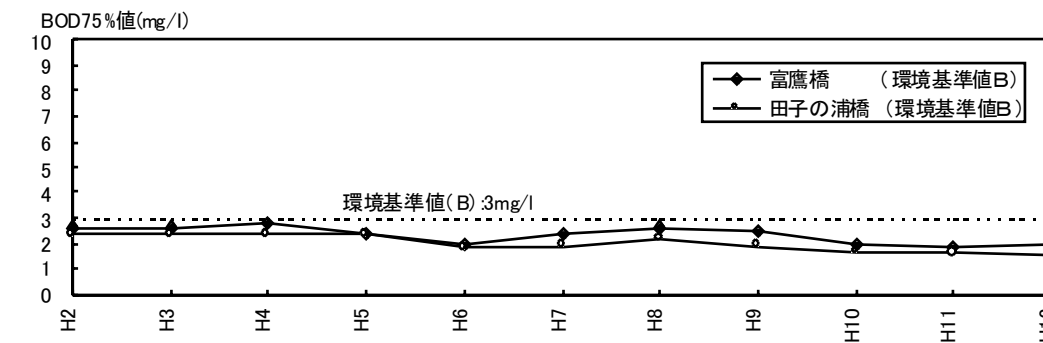
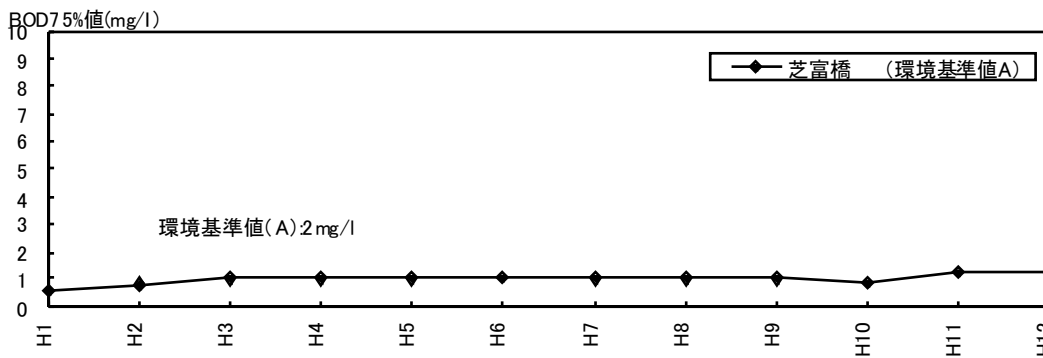
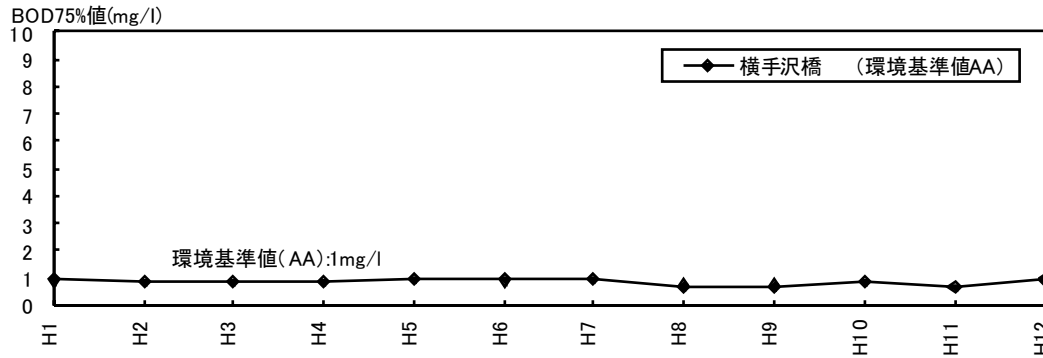
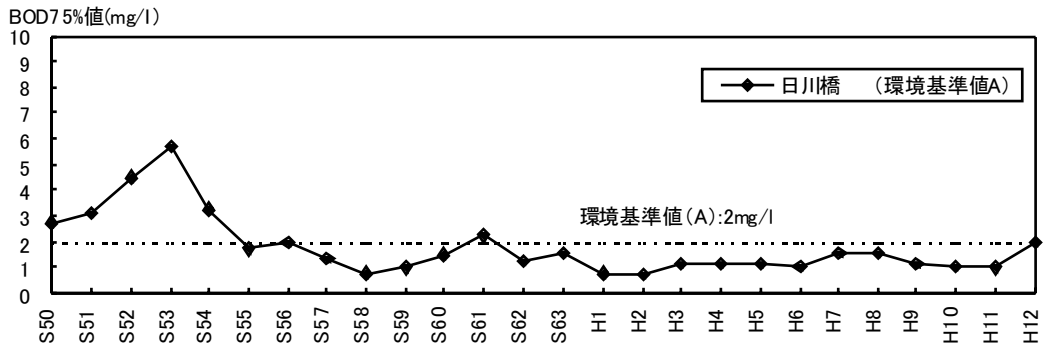
富士川流域における水質経年変化(1)

(出典：水質年表)



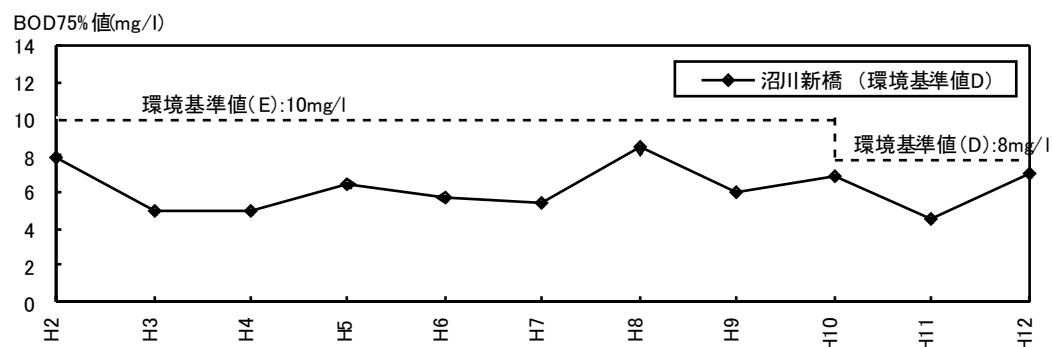
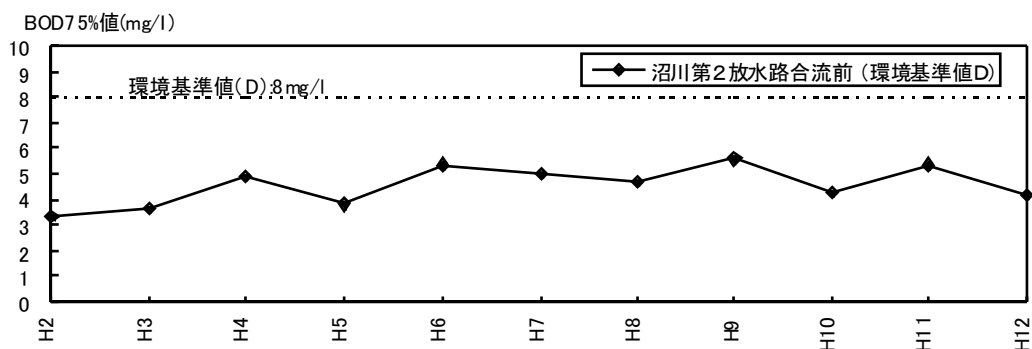
富士川流域における水質経年変化(2)

(出典：水質年表)



富士川流域における水質経年変化(3)

(出典：水質年表)



富士川流域における水質経年変化(4)

(出典：水質年表)

富士川の水質の推移を見ると、富士川本川上流、中流及び下流では環境基準値をおおむね満足しているが、富士川と笛吹川が合流する地点の富士橋、笛吹川下流の三郡東橋地点とその支川である平等川、二川橋、鎌田川流末においては、市街地から流入する汚濁負荷量の影響により環境基準値を上回っている。

一方、流域での対策として、平成5年3月に「富士川流域別下水道整備総合計画に関する基本方針」に基づく3県の県別許容負荷量が下表に示すとおり合意され、平成22年を目標として汚濁負荷量の削減に向けた下水道計画等の検討が進められていることから、今後河川水質の向上が期待できる。

県別BOD許容負荷量の目標値(単位：kg/日)

県名	長野県	山梨県	静岡県	合計
各県流達BOD許容負荷量	228	7,930	1,484	9,642